

モニタリング結果報告書

施設 花と緑のふれあいセンター
指定管理者 株式会社かながわGAパートナーズ
施設所管所 湘南地域県政総合センター

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
3月	4月5日	4月9日	業務月報・週報、現地にて確認
月			
月			
月			
月			
月			

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。〕

<提案内容の概要>

安全を最優先に、訪れるすべての入園者が満足できるようなサービスを提供しながら、園芸文化の普及と農業への理解の促進につながる事業運営を行う。

- ① 公の施設としての政策目的に沿った健全な運営のほか、その設置の趣旨にしたがい、花と緑や農業への関心を高め、庭のある暮らしが県土に広がるような運営を図る。
- ② 開園当初が最も輝きのある施設ではなく、次代の子どもたちへとつなげながら、時を経るにしたがい花と緑がいきいきと充実し、人々に愛される運営を行う。
- ③ 観賞する楽しみだけでなく、園内に植栽された花や緑、さらには、農作物を活用した様々な楽しみ方や暮らし方を提案する運営を行う。
- ④ 需要推計に基づく入園者の確保と安定的な運営を行うため、テーマ性と訴求力のあるブランドづくりを図り、社会が常に注目する運営を行う。
- ⑤ 安全、快適、かつ効率的に本センターを利用できるよう適切な点検、保守、修繕、運転、監視を行うとともに、事故や危険から来園者の安全の確保に努める。

<実施状況>

- ・バラ、ユリ、サルスベリ、クレマチス、ハナモモ、マグノリアなどのコレクション植物や一年草など、約3,200品種、126,000株の花きを植栽、展示するとともに、新しいガーデニング手法を提案するため、著名なガーデンデザイナーによる庭の見本園を制作、展示した。
- ・県内農業の理解促進を図るため、県内で生産されている主要な農作物を栽培、展示し、あわせて、県内で育成された品種の紹介を行った。
- ・また、開園にあわせて様々なイベント(5回)を実施するとともに、本センター全体の魅力向上を図るため、花や緑に関する展示会(5回)や、展示会と連動した園芸教室(2回)を実施し、暮らしの中の園芸の楽しみ方等を提案した。
- ・子どもたちの農業体験学習のため、学校等を対象としたプログラム(8回・652名)と主に親子を対象とした土日等有料プログラム(35回・274名)を実施した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	19,558	3,084	14,770	1,703	19,558	0
上半期計 (a)	—	—	(—)	—	—	—
下半期計 (b)	15,492	3,084	10,652 (—)	1,755	19,558	△4,065
3月	15,492	3,084	10,652 (—)	1,755	19,558	△4,065
月			()			
月			()			
月			()			
月			()			
月			()			
合計 (a+b)	15,492	3,084	10,652 (—)	1,755	19,558	△4,065

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

全体的に入園者数及び駐車場利用台数が想定から下回っていることに伴い、利用料金等収入も下回っている。年間パスポートの売上が良く、3月末現在、約2,112枚発行されている。パスポートによる駐車場利用料金の免除により駐車場収入が大幅に想定を下回ったことが大きな要因と考えられる。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	外部借入等	2,418,800
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数		前年同月利用者数		前年対比増減率	
上半期計 (a)	—	人	—	人	—	%
下半期計 (b)	19,483	人	—	人	—	%
3月	19,483	人	—	人	—	%
月		人		人		%
月		人		人		%
月		人		人		%
月		人		人		%
月		人		人		%
合計(a+b)	19,483	人	—	人	—	%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

3月の異常気象ともいえる雨及び気温の低下により、集客に大きな影響があった。(3月は計8日間が雨天)また、3月では植栽が育っていないこともあり、来園者に良い印象を与えることができなかった。

広報としても、翌年度5月の大型連休に合わせていたことから、開園時には認知度が低い状況にあったと思われる。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
3月	0	1	0	0	13	14
月						
月						
月						
月						
月						

(施設所管所受付分)

報告月	口頭	文書	合計
3月	1	1	2
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・園路に水がたまっており、水はけが悪い	16～31日に暗渠の増設工事を行い、排水改善を行った。
職員対応	・特になし	
事業内容	・駐車場の料金が高すぎる。	参考ご意見
	・ペットを連れてきたが、入れなかった。もっと周知すること	HPや広告の際にペットの入場ができない旨を明確に記載し周知を図る。
その他	・所在地が分かりにくい。	HPや広報媒体を使って分かりやすく標記するよう改善を図った。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	該当なし

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管所が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		実施なし	

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管 理者	<p>花菜ガーデンは、神奈川県、平塚市、近隣農家との連携による農の体験・交流のエリア「ひらつか花アグリ」の中核施設として、平成22年（2010年）3月1日に開園した。</p> <p>開園当初に、園路やガーデンの排水不良が発覚したが、直ちに改修工事を行い解消することができた。その他、施設のメンテナンスや植物管理について計画的に実施することができた。</p> <p>集客においては、3月の気温が低いことと、雨が多かったことで提案書の予測を下回る結果となった。今後は、引き続き集客に繋がる施策を効果的に実施していきたい。</p> <p>運営事業においては、計画通りに展示会、園芸教室、県民参加事業等について実施することができた。気づき体験については、開園前に県内の小中学校に対して広く広報していることから、今後の利用に期待している。イベント事業においては、開園記念として様々なイベントを実施したが、中でも、著名なガーデナーや有名人を招いてのイベントは人気があった。</p> <p>今年度は天候も不安定で幼木も多く、季節がら花も充分ではなかったが、今後樹木が育ち、季節折々の花が咲き誇り、この花菜ガーデンもその植物たちと一緒に成長したいと思っている。今後も、地域の方々とひらつか花アグリとしての連携を図りながら、交流の場として愛される花菜ガーデンにしていくために、職員一同取り組んでいきたい。</p>
施設所 管所	<ul style="list-style-type: none"> 入園者数や利用料金等収入については、天候の影響も受けたが、更なる集客に向けた積極的な広報や魅力あるプログラムの提供等による入園者や収入の増の取組みをお願いする。 利用者アンケートでは、センターへの期待がある中で、引続き入園者の立場に立った施設の運営を行う必要がある。